



村内保育園・小中学校で避難訓練

火の手から逃れるすべを学ぶ

空気が乾燥し、火災の発生リスクが高まってくる10月から11月にかけて、村内保育園や小中学校で火災を想定した避難訓練を実施しました。この訓練は、いざ火災が発生したときに子どもたちが素早く避難できるようにするため行われています。

第一保育園では園児一人一人が防災頭巾を被り、煙を吸い込まないようにハンカチで口元を押さえながら落ち着いて避難をしていました。また、小学校では利根沼田中央消防署の署員から消火器の使い方を習い、火に見立てた障害物に向け実際に消火器を使い消火訓練を行いました。



口元を押さえ、落ち着いて避難行動（第一保育園）



消火器の使い方を学ぶ（東小）



消火訓練を行う（南小）



避難スロープを使った避難行動（大河原小）



11月22日、23日 第65回昭和村文化祭 自慢の作品が一堂に集まる

村公民館と文化協会（新木一雄会長）が主催する第65回昭和村文化祭が村公民館で開催されました。

11月22日、23日と2日間にわたって開催された会場には村内の小中学生や保育園児、村文化協会加盟団体などから多くの作品が出展されました。

来場者は、出展された数多くの絵画や生け花、盆栽、書道、手工芸品などの力作を鑑賞しました。また、茶道の体験教室やクリスマスリースづくりが行われ、訪れた人々は会場を楽しんでいました。



作品を鑑賞する来場者



11月3日 第57回村内バレーボール大会 秋空の下、バレーに汗を流す

第57回村内バレーボール大会が開催され、31チーム、およそ400人が大会に参加しました。特設コートが設置された総合運動公園では9人制バレー、社会体育館ではソフトバレーボールが行われました。

秋晴れの空が広がり絶好のバレーボール日和の中、参加者たちは熱戦を繰り広げました。

▶各部門の優勝チーム Aの部：エース、Bの部：Biscotti、Cの部：睡蓮、Dの部：グッピー、ソフトバレーの部：大門



白熱したネット際の攻防



10月12日～14日 こども映画教室@昭和村2024 なにを撮ろう？どこへ行こう？



映画のストーリーを考える

「こども映画教室@昭和村2024」が10月12日から3日間の日程で行われました。映画の楽しさを肌で感じてもらうと開催されているこの映画制作ワークショップは今年で3回目の開催。映画制作に興味を持った村内小学生16名が参加しました。

今年度は「ふりかえる」をテーマに子どもたちがストーリーを一から考え撮影し、編集までのすべてを行い映画を作ります。カメラやマイクなどの機材を手に楽しそうに撮影を進めた子どもたち、編集作業が終わり上映された映画に大きな拍手が送られました。



真剣な表情で編集作業



撮影隊からこぼれる笑顔



映画をスクリーンに映し出す



11月15日 給食にとらやのようかん 老舗の味を堪能する

食を通じて村特産の白小豆を味わってもらおうと、村内全小中学校の給食に老舗和菓子店「とらや」のようかんが登場しました。ようかんには村産の白小豆が使用されていることから、今年も株式会社虎屋から提供いただいたものです。

東小学校では、給食に先立ち加藤校長先生から「とらや」の歴史や昭和村との縁などの説明がありました。児童たちは2種類盛り付けられたようかんをおいしそうに頬張っていました。



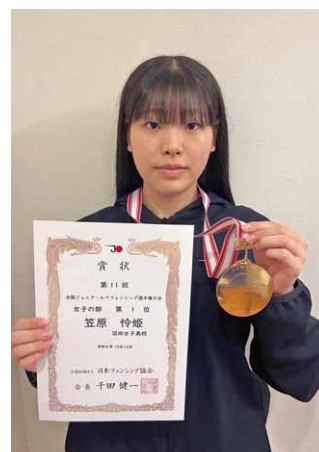
ようかんを味わう児童たち(上)
ようかんが盛り付けられた給食(右)



笠原姉妹がフェンシングで活躍 姉妹で腕を高め合う

10月10日、佐賀県で開催された第78回国民スポーツ大会のフェンシング成年女子サーブルに群馬県団体代表選手として日本大学3年の笠原佳姫さん(田岸)が出場、5位に入賞しました。

また、妹の笠原怜姫さん(沼田女子高校3年)は10月12日から長野県で開催された全国ジュニア・エペフェンシング選手権大会に出場し、女子の部で見事優勝に輝きました。



賞状とメダルを掲げる笠原佳姫さん(左)、怜姫さん(右)



10月23日 スマート農業を学ぶ 日本の農業に、未来と希望を

大河原小学校(平形隆正校長)では、(株)クボタによるスマート農業についての授業が行われました。プログラミング制御された農業用ドローンやコンバインが実際に動く様子を観察しました。



アグリロボコンバインの動きを観察する児童たち



11月5日 昭和村商工会創業塾 新たな一歩を学ぶ

創業に関する基礎知識を集中的に短期間で学べる昭和村創業塾が行われ、創業に興味をもった14名が受講しました。講師には(株)ミラ代表取締役の小松美央さんを招き、村商工会で開催されました。



講師の話に耳を傾ける参加者たち



Lala Smileが村社会福祉協議会に寄附 売上の一部を福祉貢献に

天狗印の枝豆スミージーを販売するLaLa Smile(小菅真沙志社長)が社会福祉の発展に寄与するため、売り上げの中から一部について村社会福祉協議会に寄附を行いました。



新木社協会長へ寄附金を手渡す小菅社長(右)



11月18日 教育研究会 村の教育を考える

東小学校(加藤正一校長)の6年生と5年生の授業で村教育研究会が行われました。村の教育関係者が集まり、各学年の授業を観覧。今後の教育について話し合いを行いました。



よりよくなる方法を話し合う



11月11日 通学路の安全点検 通学路の安全を確認

村通学路安全推進会議(小野和好会長)は、村内小中学校から集約した通学路の危険箇所について、警察や道路管理者らと共同による現地確認を実施。今後の安全対策について話し合いを行いました。



現地確認を行う関係者たち(入沢橋付近)



11月15日 教育行政功労者表彰 教育委員の須藤さんが表彰

市町村教育行政への貢献が特に顕著な教育委員会委員を表彰する「市町村教育行政功労者表彰」で、委員として12年以上在職している須藤俊哉さん(大河原)が教育行政功労者として表彰されました。



教育行政功労者として表彰される須藤さん

11月10日 群馬県民スポーツ大会 ソフトボール女子が準優勝

群馬県民スポーツ大会のソフトボール競技で利根郡代表として昭和村女子チームが出場しました。4連覇を目指し試合に臨みましたが惜しくも準優勝。来年こそは優勝をと、定期的な練習を計画しています。



ソフトボール昭和村女子チームの皆さん

11月26日 ヘルスメイトとうどん作り こねて、伸ばして、うどんを手作り

第二保育園ではヘルスメイトと一緒に手打ちうどんを作りました。園児たちは小麦粉に水を回すところから、こねて、伸ばして、楽しそうにうどんを手作りしました。おいしい自作うどんを食べて笑みを浮かべました。



伸ばした生地から麺を作成

11月3日 FC昭和が横浜のチームと交流戦 サッカーを通して交流を深める

FC昭和は友好交流協定を結んでいる横浜市スポーツ協会の協力のもと横浜市に遠征し、地元の少年サッカーチームと交流試合を行いました。また、横浜FCの試合も観戦し、日本サッカーの最高峰を堪能しました。



FC昭和と横浜市の選手たち

11月3日 しょうわむらマルシェ こんにゃく加工品が大集合

昭和村の美味しいものが集まる「しょうわむらマルシェ」が開催されました。今回のマルシェはこんにゃく消費拡大プロジェクトとして村産のこんにゃくを使った加工品がたくさん出品されました。



たくさんの方が来場したマルシェ会場

11月5日 フラワーメイトが花植え 昭和の湯が華やかに

フラワーメイト昭和会(小野英樹^{ひでき}会長)が、地域貢献として村総合福祉センター「昭和の湯」玄関前の花壇にビオラを植えました。小野会長は「きれいな花々を見て訪れた人が癒されてくれれば」と話しました。



花植えを行った皆さん

11月9日 ミルクカップ第48回GTV少年サッカー大会 FC昭和が見事3位入賞

FC昭和(和南城^{ひさし}監督)がミルクカップ第48回GTV少年サッカー大会に出場し、134チームによるトーナメントを勝ち抜き見事3位に輝きました。この成績はFC昭和発足以来初めての快挙になりました。



見事3位に輝いたFC昭和のメンバー